

障がい者基幹相談支援センターの取り組みについて

福岡市障がい者基幹相談支援センター

基幹相談支援センターとは

基幹相談支援センターは、障がい者の相談支援を行う中核的な役割を担う機関として、全国に設置されています。「福岡市障がい者基幹相談支援センター」もその一つです。

当センターでは、各区の障がい者基幹相談支援センター（以下、「区基幹相談支援センター」という。）の困難事例に対しての助言や、区基幹相談支援センターの人材育成のための支援を行っています。

また、障がいのある方の在宅生活での支援の中心の一つである、居宅介護事業所のホームヘルパーの人材育成にも努めています。

区基幹相談支援センター対象の研修

当センターでは、福岡市の相談支援体制の強化の取り組みの一つとして、各区に設置される「区障がい者基幹相談支援センター」のコーディネーターのスキルアップを目的とした研修を実施しています。

対象のコーディネーターの経験に応じて、体系的な研修を実施しています。

令和3年度は、事例検討会と、スーパービジョン研修、アセスメントの研修を開催しました。

スーパービジョンの研修では、大学教授を講師として、相談支援専門員を支えるためのグループスーパービジョンの必要性や実施方法の講話をいただきました。また、日常の業務に取り入れることができるように、実際に演習を行いました。



ホームヘルプースキルアップ研修

居宅介護事業所で働き、障がいのある方の支援を行うホームヘルパーを対象とし、障がいに関する知識と対応について学ぶ「ホームヘルプースキルアップ研修」を実施しています。

本研修は、介護サービスの質の向上を図ることを目的としており、福岡市から委託を受けて実施しています。

令和3年度は、精神疾患の理解と対応、高次脳機能障がいの理解と対応、発達障がいと強度行動障がいの理解と対応、重度障がい者の移乗動作と福祉用具の4テーマで研修会を行いました。

【アンケート結果】

- ・分かっていても、疾患があることで不安に感じたりするが、一個人として接することが大事だと改めて思った。
- ・個別のアセスメントや性質の大切さが本当に大切だと思った。
- ・楽しく支援をしながら、利用者さんへの暮らしの向上を考えることができた。
- ・実体験で、利用者側での立場で、苦痛がわかり大変勉強になった。
- ・色々な見方があるので情報の共有が大切だと思った。



▲ 受講の様子